

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

# ミクロン精密株式会社

山形市にあるミクロン精密株式会社の五十嵐司さん取材しました！

五十嵐さんは山形大学大学院理工学研究科有機デバイス工学専攻を修了後、2016年に入社しました。現在は設計部機械設計課で勤務しています。

## (1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。



現在は機械設計課に所属していて、機械に付属する装置の設計業務を行っています。ワーク（加工物のこと）搬送装置を設計することが多いです。



当社で開発・製造する製品は、大まかに「本機」と「装置」に分かれています。本機とは実際にワークを研削する機械のことで、その本機に対してワークを挿入したり、取り出したりするものを装置と呼んでいます。本機の基本構造はあまり変わりませんが、装置はお客様の仕様に応じて大きく変わります。

少し前までは開発設計課に所属していて、本機の新規開発や、新しい機能を盛り込むための設計をしていました。



——ミクロン精密の製品はどのようなところで使われるのですか？



当社の主力製品である「センターレス研削盤」や「内面研削盤」は、自動車エンジンの燃料噴射装置や新幹線車軸の軸受など、いろいろな部品の生産に使用されていて、金属だけではなくガラスやゴムなど多様な素材を研削することができます。年間 150 台程度を製造しますが、基本的に二つとして同じ製品はありません。

お客様に合わせて一つひとつ設計が違いますので、お客様の要求を満たした最適な機械をどう造るか、というのが仕事です。

製造業はますます自動化していく方向にあり、私たちが製造した本機・装置がお客様の工場に一式で納入され、「研削」という工程を担いますので、本機だけではなく周辺装置を含めてトータルで設計しています。

——製品を受注してから納入するまで、時間はどの程度かかりますか？

当社では一つひとつ受注生産をしていて、一台を生産するのに3ヶ月から長いと半年以上かかり、設計だけでも1ヶ月程度必要です。ワークの大きさや形などに合わせて、装置にはいろいろなパターンがあります。さらに、お客様のニーズは様々で、例えば必要スペースを小さくしたいお客様もいれば、大きくなってもたくさん機能をつけてほしいというお客様もいます。同じような形に見えても一つひとつオーダーメイドで製品を製造しています。



——「装置」にはたくさんの種類があるとのことですが、五十嵐さんが関わったことがあるのはどれくらいですか？

装置には多くの種類があり、私が知っているのは20%にも満たないと思います。設計をするメンバーは十数名いますが、全てを把握している人はいないかもしれません。

一つのユーザー向け装置は、基本的に一人で設計します。ただ、製品ができるまでは、技術課や営業担当などの他部署の人を交えて図面検討会という打ち合わせを数回行います。そこでアイデアやアドバイスをもらえます。



——工場内に「ノーIDD運動」という看板があって気になりました。どういった意味でしょうか？

(管理部の加藤さん) IDDとは「いやだ、だめだ、できない」の頭文字をとったもので、IDDを簡単に口にするのではなく、どうやったらできるか一生懸命考えよう、というスローガンです。当社は創業60年を超えましたが、センターレス研削盤の市場に参入した時にはすでに先行していた大手企業がたくさんいました。それらの先行企業が「できません」と言った仕事を全部拾い上げて、当社にしかできない技術を磨いてきたという歴史があります。そういった姿勢がノーIDDに集約されています。

——（机の上のファイルを見て）この「ヒヤリ・ハット」とは何でしょうか？



「ヒヤリ・ハット事例」とは、重大なミスにつながりかねないことがあったが、それを発見し未然に防いだ事例のことです。その様な事例があると全社員に情報共有をして注意を促します。

当社ではミスを防げた場合、最大で5千円相当の報奨品がもらえます。例えば、間違った図面で部品を製作してしまい作り直しが発生すれば、損失になります。それを防ぐための工夫をしています。

## (2) 職場編

### ——ミクロン精密に入社したきっかけは何ですか？

バイクいじりが趣味なこともあって、もともと機械系が好きでした。就職活動では自分が好きな機械系と、専攻していた化学系の二択に絞っていました。大手メーカーに行くことも考えましたが、自分の性格や生活スタイルを考えて、地元の近くにあっかつ仕事内容としてグローバルにいろいろなことができる会社を探しました。そこで、国内で生産しながら、製品の半分以上を海外に出荷し、グローバルな事業を展開している当社を見つけて、いいなと思いました。

実際に仕事をしていると、国内と海外ではお客様の要望がまったく違うことに驚いたり、海外メーカーが競合になることもあり、生活している場所は日本ですが、世界を相手に仕事をしていることを実感します。

### ——自分の性格や生活スタイルと合っていると考えるところを詳しく教えてください。



就職活動で東京に行くこともありましたが、人混みが激しく、通勤で毎日満員電車に乗りたくないな、と思いました（笑）。自分の生活スタイルとしては、今いる山形市周辺の「ちょうど良さ」が合っていると感じました。

就職活動では出身の福島県の企業も検討していた、生活環境は今と同じくらいかなと思いましたし、大手企業の工場もたくさんありましたが、本社が福島にあるという会社は意外と少なかったです。それも、ミクロン精密のような会社は他にはないと感じました。

——**本社が山形にあるメリットは何だと考えますか？転勤がないことですか？**

本拠地は山形ですが、東京や名古屋の営業所に行く可能性もありますし、アメリカにある Micron-U.S.A.,Inc.に行く人もいますので、転勤が特に嫌だったというわけではありません。ですが、一番長く住むことになるのはメインで仕事をする本社がある場所ですので、本社が山形にあることを基準に考えていました。

——**海外のお客様が多く、アメリカに転勤する可能性もあるとなれば、高い語学力が必要になりますか？**

もちろん英語等ができれば外国のお客様と直接会話ができますが、もし使えなくても社内に英語や中国語を通訳できる人がいるので、コミュニケーションは何とかなります。語学力よりも、自分の専門職がしっかりできる人が求められているのかなと思います。

——**海外拠点に行くことになった場合は、研修等がありますか？**

（管理部の加藤さん）アメリカ赴任が決定すると、3ヶ月はアメリカに語学留学に行ってもらいます。そのため、語学はなんとかなります（笑）。他にも、若手社員を対象にした、2~3ヶ月のアメリカ短期研修があります。この研修は、本人の希望という場合もありますし、上司の推薦でという場合もあります。



## ——新入社員に対する研修はどのようなことが行われますか？

工学部出身者でも、センターレス研削盤、内面研削盤について専門で学んでいなければまったく分からないので、最初の1年間は教育プログラムが組まれています。そこで文系出身者も含めて自社の製品について全員が同じスタートラインから学びます。最初の1か月は教育プログラムに集中して取り組みますが、2か月目以降はプログラムを学びながら配属された部署の業務をします。

## ——文系出身者はどういう業務をしている方が多いですか？

営業や総務の事務職に就く方が多いですね。たまに技術的な内容の仕事をしたという方もいます。技術課という機械全体の仕様を考える部署に配属された人や、電気回路の設計をしている人もいます。

## ——ミクロン精密に入社してよかったことは何ですか？

就活のときに重視していたことでもありますが、フレンドリーというか、アットホームな雰囲気の会社ということです。入社してすぐの時期は教えてもらう一方になりますので、先輩や上司に聞けばすぐ教えてくれるという雰囲気は良かったと思います。

## ——就職活動の時からそういった雰囲気は感じていましたか？

会社説明や工場見学のときから、社内の雰囲気が良いなと感じていました。いくつかの会社をみて、同じ業種であっても、会社の雰囲気はそれぞれ特徴があり違っていました。

——最近、育児休業を取得したと伺いました。職場の反応はどうでしたか？

育休は子どもが1歳になるまで取得できます。それまでに何回かに分けて取得できますので、1回目は産後から8週間取得しました。周りにも取得した男性社員はいましたが、私の感覚では「短い」と思っていました。今は2回目の育休も考えていて、2ヶ月間くらいを予定しています。

(加藤さん) 補足すると、今まで男性社員の育休取得は長くて1週間程度でしたので、五十嵐さんの8週間という長期間の育休は初めてです。社内では「五十嵐さんが取得したなら私も」と続く男性社員が出てきていて、会社としても「男性も育休はとるものだ」という前提で動いています。女性社員の育休取得率は100%です。男性社員も100%になるようにしたいですね。



——育休が長期間になると、仕事のフォローはどうしていますか？

課長職以上の管理職が仕事のやりくりをしてくれます。特に女性であれば1年半程度休む人もいますので、他の部署から応援に来てもらったり、派遣会社をお願いしたりして仕事が止まらないようにしています。周りが皆でフォローする体制ができていますので、休みは取りやすいと思います。

——育休を取るにあたって不安はありませんでしたか？

仕事に関しての不安は全くありませんでした。2ヵ月間であれば育休から戻ったときに会社の中や仕事内容が大きく変わることはないですし、職場の皆さんがフォローしてくれたので、実際に復帰してからも大変だったということは有りませんでした。

それに、育休中にも上司からときどき「こういうことがあったよ」という連絡がもらえるので、復帰するときは特に心配もなく、いつも通り出社する感じでした。

## ——ミクロン精密の特徴的な福利厚生はありますか？

最近活発に行っているのが、部門間交流会です。仕事中は自分の部署とは関わりますが、どうしても他の部署の方とは関わりが薄くなってしまいます。例えば、私たち設計と、機械加工の部署だと職場が違いますので、電話では話しても顔を合わせることがほとんどありません。それで親睦を深めるために一緒に食事会をしたりしていて、そのための費用は会社が負担してくれます。

設計から他部署へ急ぎのお願いをすることもたまにありますが、顔を知っている人をお願いするのとそうでないのとではやはりまったく違います。交流会があれば互いにコミュニケーションしやすくなりますので、すごく良いと思います。



### (3) ある日の過ごし方編

#### ● 8:10 【業務開始】

全社でラジオ体操をしてから、業務を開始します。  
スケジュールとメールの確認をします。  
担当している設計業務を進めます。



#### ● 12:15 【お昼休憩】

社員食堂で弁当を食べます。その後は自席で昼寝をします。

#### ● 13:05 【午後の業務開始】

#### ● 15:10 【打ち合わせ】

3D-CAD プロジェクトの打ち合わせをします。  
現在は2次元で作成している図面を、3次元の図面  
に移行させるプロジェクトです。設計業務の3D化  
について進捗確認と日程調整をします。



#### ● 17:10 【退勤】

退勤後は家事・育児をしながら、たまった録画を消化しています。

#### (4) むらやまでの暮らし編

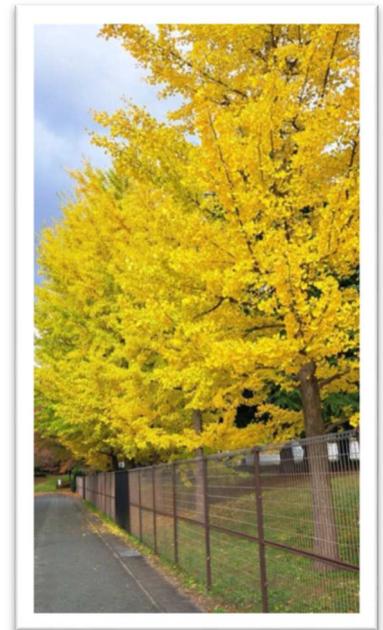
——山形に住んでいて良かったと思うのはどういうところですか？

よくある話かもしれませんが、食べ物が全般的に美味しいところですね。私は天童市に住んでいますので、よく行くところだと「らーめん勝蔵」とか、有名なところだと「水車生そば」ですね。

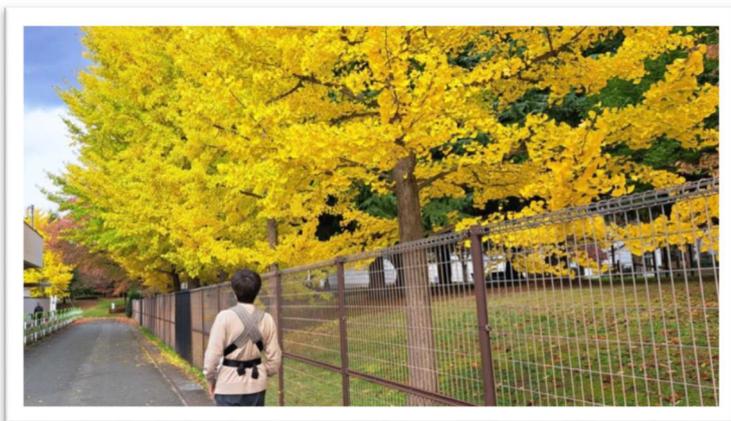


——休日はどのように過ごしていますか？

子どもが生まれてからは子どもにつきっきりです（笑）。子どもが4か月※になってしっかりしてきたので、最近是天童にある山形県総合運動公園に散歩に行くなど、近場のお出掛けが増えていきますね。



※取材を行った11月現在。



## ——天童市に住むことにしたのはなぜでしょうか？

どうしても天童でなければ、ということはありませんでしたが、妻が天童出身なこともあって、あまり遠くないほうがよいと考えて天童に家を買いました。妻の実家が近いので子育てで助けてもらえますし、イオンモール天童があり利便性も良かったと思います。通勤にはもう少し近いほうが楽ですが…。



## ——天童からどうやって通勤しているのですか？

車で通勤しています。通勤時間は40分前後かかります。夏期間はサマータイムを導入していて、その時期は道路が混雑する時間を避けられるので30分程で出社できます。

## ——サマータイムとはどういった制度ですか？

6、7、8月は勤務時間を1時間前倒ししています。7:10に仕事が始まって、16:10に終業です。東日本大震災以降の取り組みで、そのときはガソリン不足や電力不足が深刻だったので、渋滞を避けてできるだけ燃費よく通勤したり、工場稼働時には一斉に電力を消費するので電力ピークをずらしたりするためでしたが、現在はライフ・ワーク・バランス※の観点からも制度が継続されています。1時間早く終業できれば、早ければ17時前には帰宅できるので保育園のお迎えにも間に合います。

※ミクロン精密では、「ライフ・ワーク・バランス」と呼称しています。

## (5) まとめ編

### ——今後の目標はありますか？

私はもともと機械系を専攻していなかったのですが、資格をとって自分のレベルアップを図りたいと考えています。直近では技術士第一次試験を受けるつもりです。受験費用は会社から補助が出ます。

もっと先の目標ですと、これから後輩が増えて自分が教える立場になりますので、後輩を育てられる人になりたいと思います。



### ——就活生に向けて何かアドバイスはありますか。

私が就職活動していた頃からはだいぶ方法も変わっているでしょうし、新型コロナウイルス感染症対策として対面で話す機会も減っていると思います。ですが、できれば会社見学はWebで済まらずに、直接訪問して、自分の目で確かめてほしいです。

いろいろな会社の中を詳しく見られるのは、就職活動をしている時期だけです。一度就職してしまうとライバル会社の中を見せてくれとは絶対に言えなくなります。なにより、いろいろな会社を見学することができるのは楽しいと思いますので、情報収集をして「こんな会社がある、こんな仕事もあるんだ」ということを知ってほしいと思います。

### ——会社見学で注目したほうがいいポイントは何ですか？



ホームページに載っている内容は読めばわかるので、それ以外のもっと具体的な業務内容、会社の雰囲気注目した方が良いでしょう。それに意外と大事だと思うのが、仕事の中身だけでなく、「車で通勤している人はどれくらいか」といった自分の将来の生活がどういうふうになるか具体的にイメージするための情報ですね。

———ありがとうございました！

ミクロン精密株式会社を訪問して、世界最先端の技術を持っている会社だけあって社員のやる気を引き出すのが非常に巧みで、福利厚生等の制度も常に更新している新しい企業という印象を受けました。

工場見学の際には、社員自身のやる気を引き出し、同時に経営におけるマイナス面を減らす工夫が随所に見られて興味深かったです。特にヒヤリ・ハットを見つけることで報奨がもらえるという、社員たちが自主的に行いたくなるような仕組みが面白く、そのような工夫が製品の信頼性を失わないことにつながっていると思いました。



【インタビュアー：  
山形大学人文社会科学部 成澤亜衣、加藤大】

## ミクロン精密株式会社

---

★いきいきとした仕事のためにライフワークバランスを重視しています

「くるみん」や「山形いきいき子育て応援企業」の認定を受けるなど、生み育てる社員をサポートする環境があります。

★くるみん認定、山形いきいき子育て応援企業（ダイヤモンド）認定

- ・所在地 山形県山形市蔵王上野 578-2
  - ・設立 昭和 36 年 10 月
  - ・従業員数 221 名（男性 192 名、女性 29 名）
  - ・URL <https://www.micron-grinder.co.jp/>
-